

背面のポケットに保管してください。

COMBI

コンビジュニアシート

プリムジュニアDX

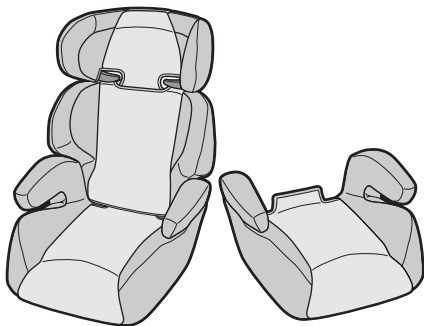
取扱説明書

E3

品質保証書付

ECE R 44/03
0356446

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解のうえ、記載された内容に従い正しくお使いください。本書は、ジュニアシート背面のポケットに保管してください。(9ページ参照) このジュニアシートは、ヨーロッパ基準 ECE R44/03を取得しています。



本製品は前向き専用です。

もくじ

安全にお使いいただくために ... 1	3. お子さまを座らせる 13
お使いいただけるお子さまの条件 1	4. ベルトガイド(ヘッドレスト)の 高さを調節する 14
3点式シートベルト専用 1	5. シートベルトを締める 15
取り付けできない座席 2	6. ベルトクリップを取り付ける 17
△ 危険 3	7. お子さまを座らせたあとのチェック 背もたれをはずして使う 19
△ 警告 4	1. 背もたれをはずす 19
△ 注意 5	2. お子さまを座らせシートベルトを 締める 20
△ 日常の点検 6	3. お子さまを座らせたあとのチェック お手入れのしかた 23
△ 緊急の脱出 6	保管のしかた 24
ご使用になる前に 7	製品仕様 25
梱包品と組み立てかた 8	品質保証書 26
各部のなまえ 9	角度チェッカー 裏表紙
シートベルトの種類と 取り付け上の注意 10	
使いかた 11	
1. 車の座席に置く 11	
2. 背もたれの角度を調節する 12	

安全にお使いいただくために

このたびは、コンビジュニアシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ジュニアシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

お使いいただけるお子さまの条件

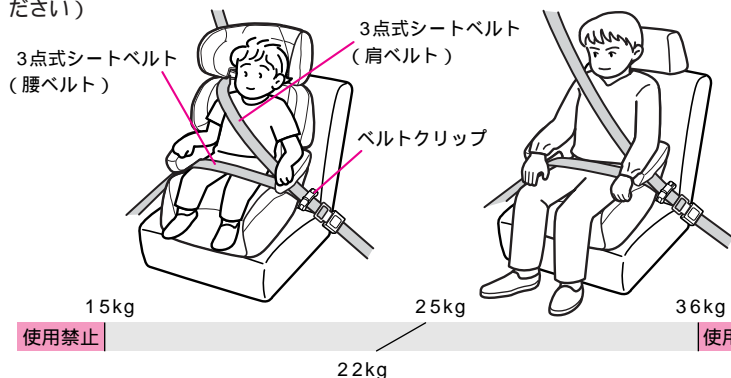
次の条件をすべて満たすお子さまにお使いいただけます。

体重：**15kg以上～36kg未満**のお子さま。

(参考年齢...3才ころ～11才ころ)

身長：**100cm～145cm程度**のお子さま。

(ジュニアシートに座り、後頭部がヘッドレストから上にでた場合は、座面部のみで使用してください)

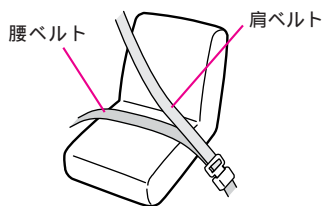


3点式シートベルト専用

3点式シートベルトが装備されている座席に取り付けてください。

3点式シートベルトとは...図のように、腰ベルト左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。

2点式シートベルト装備の座席、エアバッグ装備の座席など、「取り付けできない座席」に取り付けると、安全が確保できません。



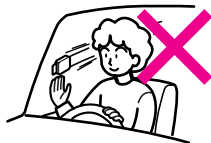
取り付けできない座席

次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

シートベルトの付いていない座席。

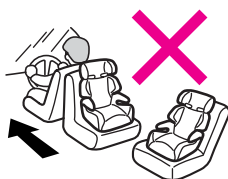


パッシブシートベルトの付いた座席。(オートマチックシートベルト)



...車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。とくに輸入車にみられる。

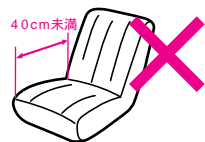
進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



座面の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



座席の奥行きが40cm未満の場合。

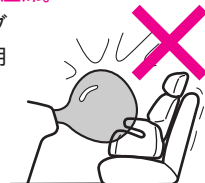


2点式シートベルトの座席。

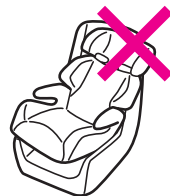


エアバッグ装備の座席。

サイドエアバッグのみの車には使用できません。






極端なバケットシート。(座面の中央が深くへこんでいる座席)



ジュニアシートは、前座席・後座席ともに取り付けられますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめいたします。

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項と、お子さま、車の座席の条件は、ジュニアシートとしての機能を発揮させて、安全に正しくお使いいただくためのものです。「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の、切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。

危険

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能を果たさず危険をまねくおそれがあります

使用条件に**適合しない**お子さま・座席などでは使用しないでください。



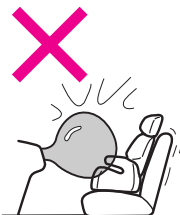
取扱説明書どおりに**しっかり固定できない**ときは、**使用しないでください。**



お子さまがジュニアシートの上で**立ったり、中腰になったり、正座をしない**ようにしてください



エアバッグ装備の座席ではジュニアシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。エアバッグの装備されていない座席で使用してください。



お子さまを座らせたときには、シートベルトが正しい位置で装着され、差込金具が**しっかり固定されている**ことを確認してください。



⚠ 警告

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能を果たさず危険をまねくおそれがあります

お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故のもととなります。必ず保護者が同乗して使用してください。



衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたジュニアシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。



シートベルトをたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。



車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。



チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締めつけられ、胸が圧迫されます。(10ページ参照)

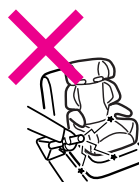


次のような使いかたは、同乗している方やお子さまに、危険をまねくおそれがあります

お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで固定してください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席にジュニアシートを取り付けしないでください。



2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合には、ジュニアシートを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。



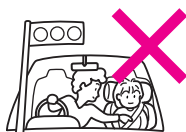
安全にお使いいただくために

⚠ 注意

ジュニアシートに直接日光が当たると、本体やシートベルトの差込金具などが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。お子さまを座らせる前に各部にさわり、やけどをしないことを確認してから使用してください。



走行中は、各部の操作や調整をしないでください。



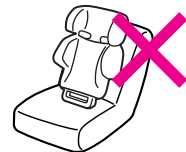
ジュニアシートを車のシートの可動部やドアに挟まないように、十分注意してください。



ジュニアシートを改造したり、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。



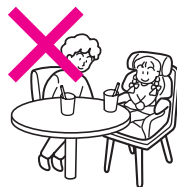
背もたれのみでは使用しないでください。



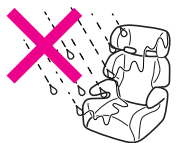
車の座席にクッション、座ぶとんなどを敷いたままでジュニアシートを取り付けしないでください。ジュニアシートがしっかり固定されません。



ジュニアシートを、通常の椅子として使用すると、転倒してけがの原因となります。この取扱説明書に記載されている使いかたで使用してください。



ジュニアシートを、風雨にさらさないでください。



シートカバーなどの縫製品をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えないでください。（安全性能に影響を与えるおそれがあります）



固定されていない物を車内に放置しないでください。急ブレーキや衝突の際にお子さまなどに当たる可能性があります危険です。



組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面部から背もたれがはずれないように、しっかり支えてください。



⚠ 日常の点検

ジュニアシートの本来の機能を生かすため、お子さまを乗せた後で、下記の事項を点検してください。

背もたれをつけて使用する場合には

ベルトガイドが、正しい位置にくるように、ヘッドレストの高さが調節されていること。

シートベルトに、ねじれやたるみがないこと。

腰ベルトがお子さまの腰骨あたりを押さえていること。



車の座席のヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしておくこと。

車の座席とジュニアシートとのすき間が、できるだけ小さいこと。

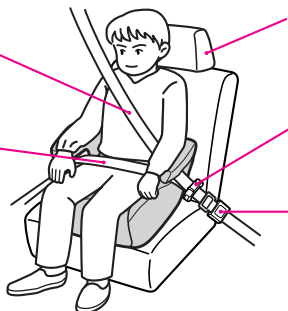
ベルトクリップできちんと固定されていること。

シートベルトの差込金具がしっかりとバックルに差し込まれていること。

背もたれをはずして使用する場合には

シートベルトに、ねじれやたるみがないこと。

腰ベルトがお子さまの腰骨あたりを押さえていること。



車のヘッドレストがはずされていないこと。

ベルトクリップできちんと固定されていること。

シートベルトの差込金具がしっかりとバックルに差し込まれていること。

⚠ 緊急時の脱出

緊急の場合には

事故など緊急時は、あわてず、保護者の方がシートベルトをはずし、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

ご使用になる前に

お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストを上下させたり、背もたれと座面部を分離することにより、体重15kg(3才ころ)~36kg(11才ころ)までお使いいただけます。

お子さまの成長に合わせて、2つの使いかたができます

体重 15kg~25kgまで
身長 100cm~125cmまで
(参考年齢...3才~8才ころまで)
背もたれのついた状態で使用します。
肩ベルトとヘッドレストの高さが調節
できます。



体重 22kg~36kgまで
身長 115cm~145cmまで
(参考年齢...6才~11才ころまで)
背もたれを取りはずし、座席部のみで
使用します。大人用のシートベルトが
フィットするように、座高を上げる役
目を果たします。



ジュニアシート卒業の目安

身長が145cmを超えたお子さまは、車のシートベルトのみでご乗車できます。肩ベルトがしっかり肩にかかることをご確認ください。

体重が22kg~25kgの期間は、背もたれは付けても付けなくても使用できます。

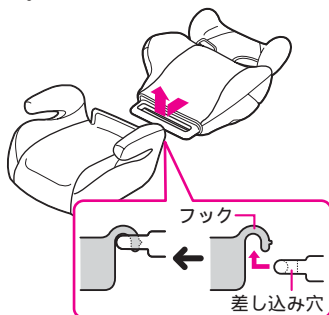
梱包品と組み立てかた

組み立て前に下記の部品がそろっていることを確認してください。

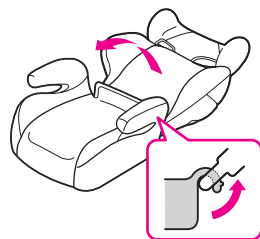
梱包品	ジュニアシート座面部	1	取扱説明書(本書).....	1
	ジュニアシート背もたれ.....	1	ベルトクリップ	1

組み立てかた

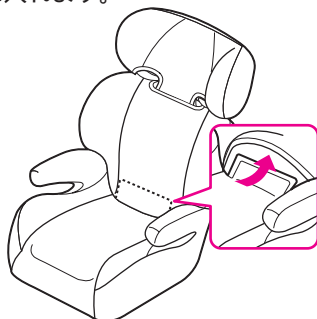
- 1** 図のように、座面部のフックを背もたれの差し込み穴に入れます。



- 2** 背もたれの下端が座面部のフックからはずれないように、気をつけて背もたれを立てます。



- 3** 背もたれと座面の折り目部分のシートクッションを背もたれ側に入れます。



警告

背もたれを左右に揺すり、背もたれの下端が座面部のフックに確実に差し込まれていることを確認してください。しっかり差し込まれないまま使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

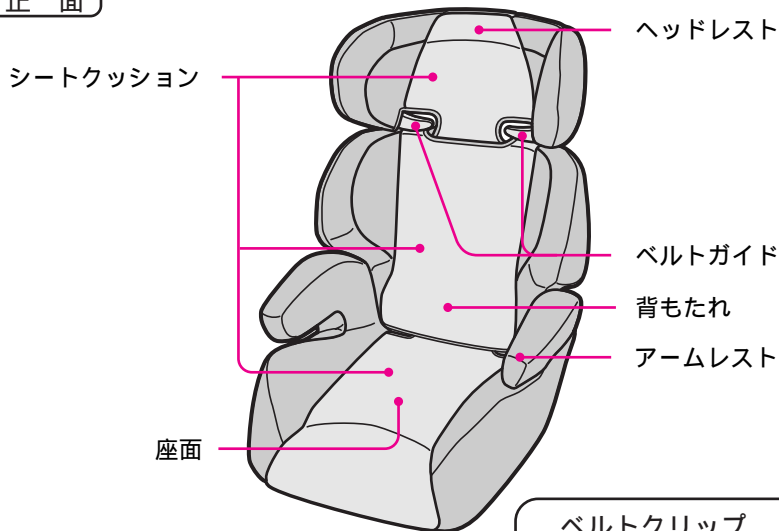


注意

組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面部から背もたれがはずれることのないよう、しっかりと支えてください。

各部のなまえ

正面

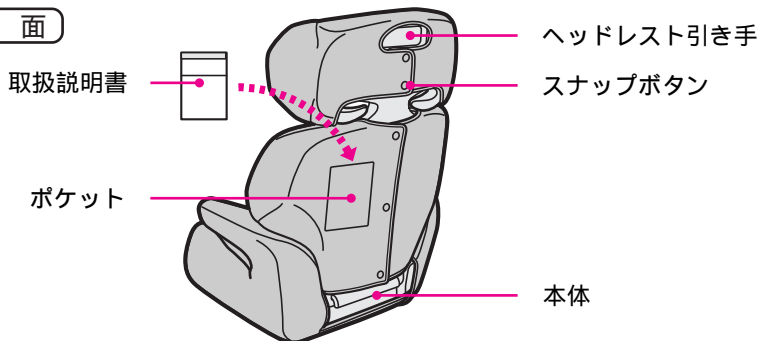


ベルトクリップ



シートベルトのゆるみを防ぐために使います。(使いかたは、17ページをご覧ください)

背面



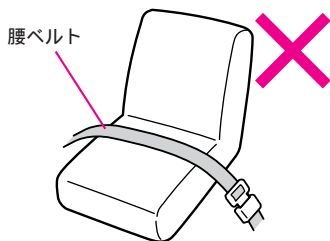
シートベルトの種類と取り付け上の注意

ジュニアシートは、シートベルトの種類により取り付けられない場合があります。下表をご覧ください。ご使用の車のシートベルトの種類をご確認ください。下表でわからない場合には、車の取扱説明書をご覧ください。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR付きシートベルト ...ELRとは緊急ロック式ベルト巻き取り装置のことです。	通常は、ゆっくりと引くとベルトが自由に出入りし、急ブレーキや衝突などの衝撃を感知したときだけ固定機能が働き、ベルトが固定されるシートベルトです。	ジュニアシートは、2点式シートベルトでは、使用できません。
A/ELR付きシートベルト (チャイルドシート固定機能付きシートベルト) ...A/ELRとはALRとして使用できるELR巻き取り装置のことです。	通常は、ELRベルトとして機能しますが、ベルトを全部引き出すとELR機能が解除され、ベルトを戻すと自動的にロックされるシートベルトです。また、ベルトをすべて戻したときにはELR機能に戻ります。	シートベルトを全部引き出した状態(ALR)では危険です。ベルトを戻してチャイルドシート固定機能を解除してください。
ALR付きシートベルト ...ALRとは自動ロック式巻き取り装置のことです。	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出されなくなるシートベルトです。	使用できません。
NLR付きシートベルト ...NLRとは非ロック式巻き取り装置のことです。	ロック機能のない巻き取り装置のことで、任意の位置で長さ調節して使用します。	ジュニアシートに合わせてシートベルトの長さを調整し、固定してください。
マニュアル式シートベルト	巻き取り装置の付いていないシートベルトのことです。	

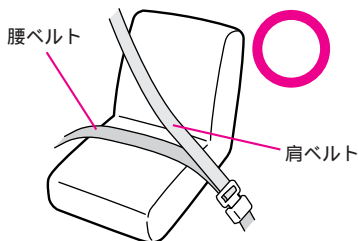
2点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右の2点で体を支えるシートベルトのこと



3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと



使いかた

1 車の座席に置く

車の座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。2ページの「取り付けできない座席」をご覧ください。



危険

エアバッグが装備された座席ではジュニアシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。エアバッグの装備されていない座席で使用してください。

座席の種類などにより、ジュニアシートをしっかりと取り付けられない場合は、使用しないでください。本来の機能を果たさず大変危険です。



警告

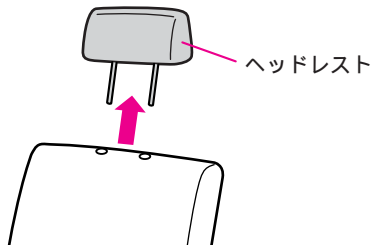
2ドア、3ドア車で後座席に人が乗車する場合は、助手席にはジュニアシートを取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。



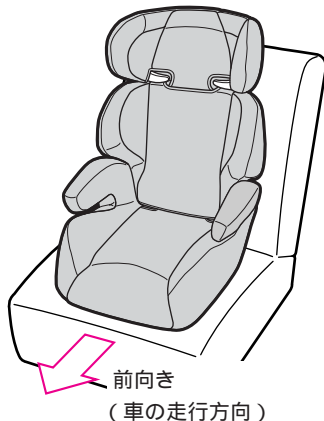
注意

お子さまを座らせるときは、必ず保護者が行ってください。シートベルトを締めていない不安定なジュニアシートに、保護者の方の補助なしでお子さまが1人で座られると、車の座席からずれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。

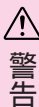
車の座席のヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてください。



ジュニアシートを前向きに車の座席に置きます。



2 背もたれの角度を調節する



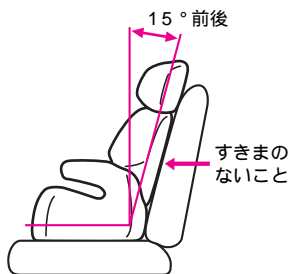
車の座席がリクライニングできる場合は、できるだけ立てて使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。



背もたれの角度調節は、必ず車を停車させて行ってください。

ジュニアシートの背もたれと車の座席の間のすき間が、できるだけ小さくなるように調節してください。

車の座席角度に合わせて、 15° 前後の傾きで使用してください。



図のような状態では使用しないでください。



角度を確かめるときは、角度チェッカーを使います。詳しくは、裏表紙の「角度チェッカー」をご覧ください。

使いかた

3 お子さまを座らせる



ジュニアシートは、シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者の方の補助なしでお子さまが1人で座られると、車の座席からずれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者の方がジュニアシートに座らせてください。

背もたれと座面の間に衣服をはさむおそれがあります。注意してください。

お子さまを、ジュニアシートに深く座らせてください。

必ず、保護者の方が座らせてください。



お子さまを図のように座せると、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険です。

お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。



中腰になったり、正座したりしている。



4 ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さを調節する

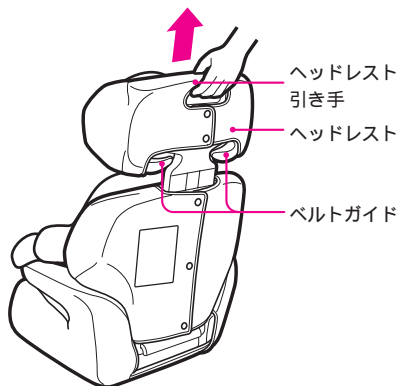


お子さまの成長に伴い、ベルトガイドの位置が低くなったときには、ヘッドレストの高さを調節してください。
お子さまの後頭部が、ヘッドレストの一番高い位置よりも上に出る場合は、背もたれをはずしてお使いください。(19ページ以降をご覧ください)

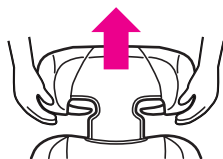
ベルトガイドの高さを調節して、車のシートベルト(肩ベルト)をお子さまの正しい肩の位置にしてください。

ベルトガイド(ヘッドレスト)の引き上げかた

ヘッドレスト引き手に手をかけて、ヘッドレストを上引き上げます。

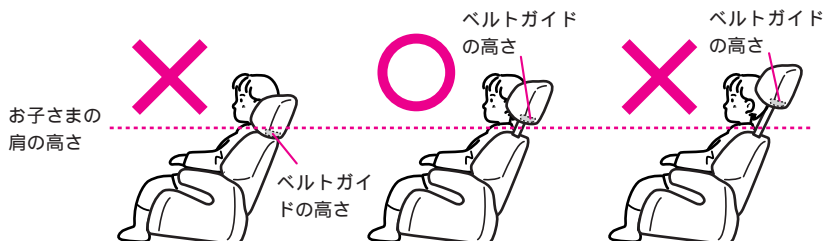


引き上げにくい場合には、両手でヘッドレストの両端を持って引き上げてください。

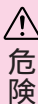


ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さの目安

ベルトガイドの位置を、お子さまの肩の高さよりも少し上にしてください。



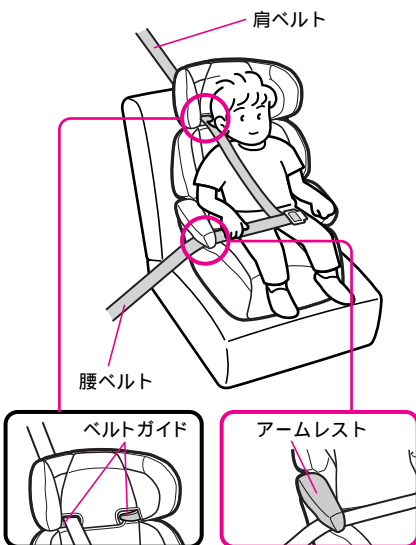
5 シートベルトを締める



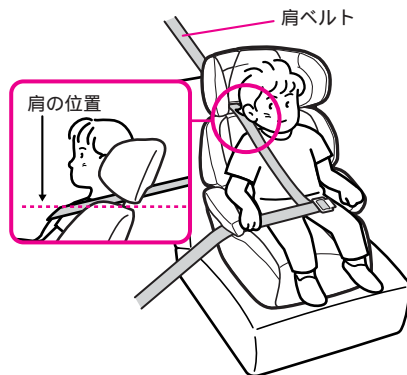
3点式シートベルトが装備されている座席に取り付けてください。2点式シートベルト装備の座席には、使用しないでください。

お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで固定してください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。

- 1** 車のシートベルトを引き出し、肩ベルトをベルトガイドに通し、腰ベルトをアームレストの下に通します。



- 2** 肩ベルトが、お子さまの肩よりも、少し高い位置から引き出されていることを確認してください。



肩ベルトがお子さまの肩よりも下から出ている場合には、「ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さを調節する」(14ページ)をご覧ください。ベルトガイドの高さを調節してください。

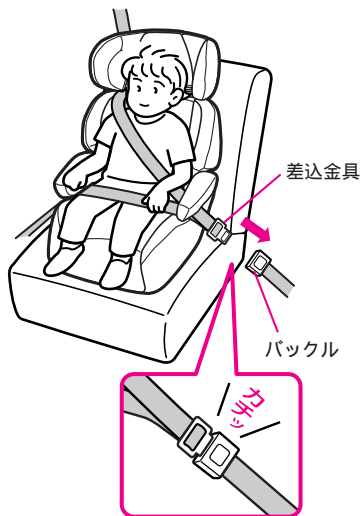
このとき肩ベルトがお子さまの首にあたらないよう、十分注意してください。



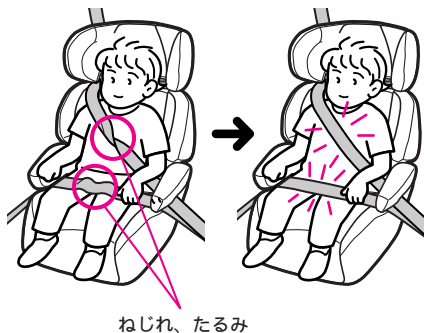
警告

チャイルドシート固定機能付きシートベルト装備の座席に取り付ける場合は、シートベルトを全部引き出すとロックがかかり、お子さまが締めつけられる危険があります。全部引き出さないでください。また、お子さまがシートベルトを引き出さないように注意してください。(詳しくは、10ページの表をご覧ください) シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

3 シートベルトの差込金具を反対側のアームレストの下から引き出し、『カチッ』と音がするまで、しっかりとバックルに差し込みます。



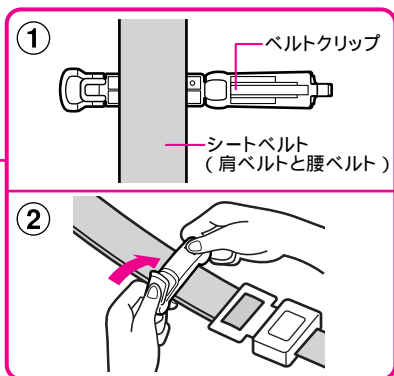
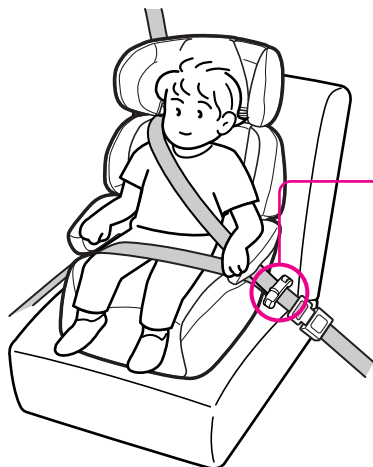
4 シートベルトに、ねじれやたるみがないことを確認し、「ベルトクリップ」を取り付けます。(次ページ参照)



6 ベルトクリップを取り付ける

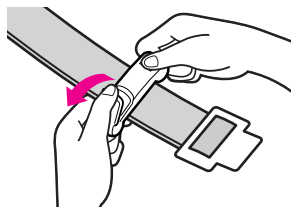
シートベルトのゆるみを防ぎ、ジュニアシートをしっかりと固定するため、ベルトクリップは必ず取り付けてください。

アームレストと差込金具の間のシートベルト(肩ベルトと腰ベルト)を2枚重ねて、①ベルトクリップの中央にセットして、②はさみます。



ベルトクリップのはずしかた

取りはずすときには、シートベルトのバックルを解除してから、下図のように突起部に指を引っかけて矢印方向に引っ張り、ロックをはずします。



ベルトクリップは、お子さまの力ではずれないよう固くしてあります。



警告

ベルトクリップを取り付けていないと、シートベルトがゆるみ、ジュニアシートが前にずり落ちたり、お子さまが抜け出したりするおそれがあります。また事故などの衝突時に、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険です。

ベルトクリップをお子さまがさわらないように注意してください。

7 お子さまを座らせた後のチェック

お子さまを座らせた後、次のことを確認してください。

肩ベルトがお子さまの首を
を圧迫していないこと。

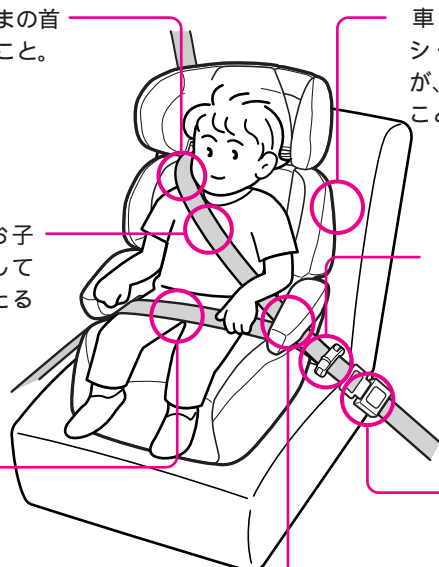
シートベルトがお子
さまの体に密着して
いて、ねじれやたる
みがないこと。

シートベルト(腰
ベルト)がお子さ
まの腰骨あたり
を押さえている
こと。

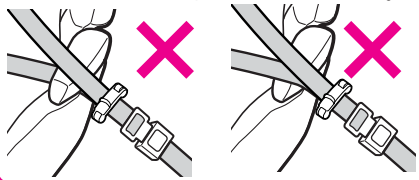
車の座席とジュニア
シートの間のすき間
が、できるだけ小さい
こと。

ベルトクリップが
しっかり装着されて
いること。

差込金具が、バックル
にしっかりと
差し込まれている
こと。



シートベルト(肩ベルト・腰ベルト)が
アームレストの下を通っていること。



これらの項目をチェックし、しっかりと取り付けられていない場合は、再調整してください。それでもしっかりと取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

背もたれをはずして使う

次の注意事項に従い、背もたれをはずしてご使用ください。



注意

次の3つのいずれか1つでもあてはまる場合は、必ず背もたれをはずしてお使いください。

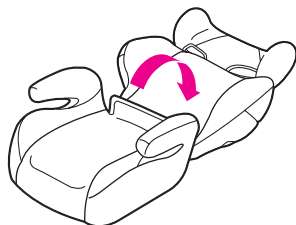
お子さまの体重が25kgを超えた場合

お子さまの身長が125cmを超えた場合

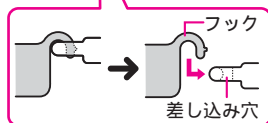
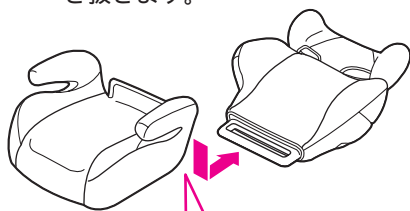
お子さまの頭が背もたれよりも上にでた場合

1 背もたれをはずす

1 背もたれを後ろに倒します。



2 背もたれを、差し込み穴から引き抜きます。



注意

取りはずした背もたれを車内に放置しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどにあたるおそれがあります。

2 お子さまを座らせシートベルトを締める



背もたれをはずして使用する場合は、車の座席のヘッドレストをはずさないでください。

1 座面部を座席に置き、その上にお子さまを座らせます。



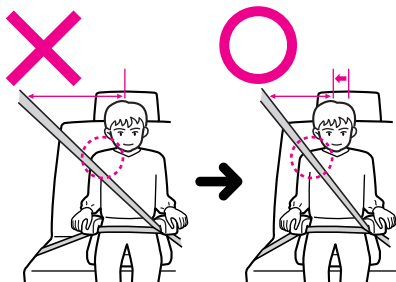
2 大人と同じように、3点式シートベルトを締めます。

腰ベルトを左右の**アームレストの下に通し**、**差込金具**を「カチッ」と音がするまで、しっかりと**バックル**に差し込みます。肩ベルトをお子さまの肩にかけます。



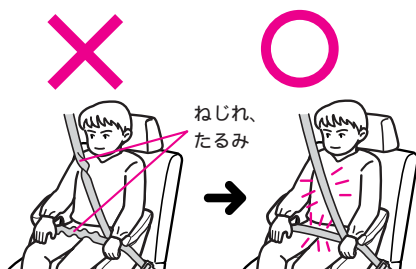
3 車のシートベルトの肩ベルトの高さ位置が調節できる場合は、お子さまの肩にかかるように調節します。

図のようにシートベルトがお子さまの肩にかからない場合、ジュニアシートを左右に移動してください。（シートの形状によりずらせない場合があります）

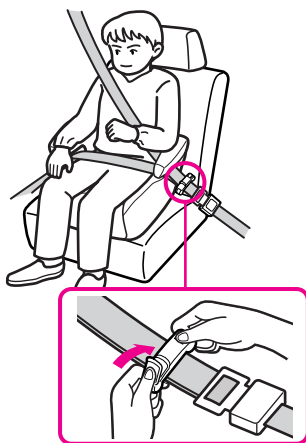


背もたれをはずして使う

- 4** シートベルトがお子さまの体に密着して、**ねじれ**や**たるみ**がないことを確認します。



- 5** ベルトクリップを取り付けます。(詳しくは17ページをご覧ください)



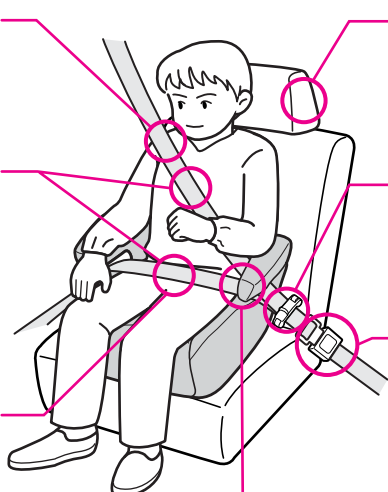
3 お子さまを座らせた後のチェック

お子さまを座らせた後、次のことを確認してください。

シートベルトがお子さまの首を圧迫していないこと。

シートベルトがお子さまの体に密着して、ねじれやたるみがないこと。

シートベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。

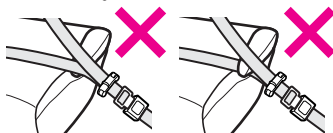


車の座席のヘッドレストがはずされていないこと。

ベルトクリップがしっかりと装着されていること。

差込金具が、バックルにしっかりと差し込まれていること。

シートベルト(肩ベルト・腰ベルト)がアームレストの下を通っていること。

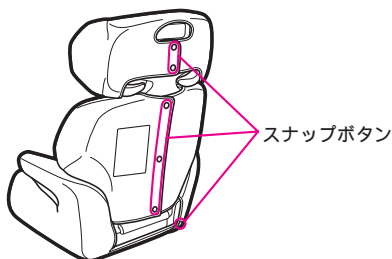


これらの項目をチェックし、正しく取り付けられていない場合は、再調節してください。それでも正しく取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

お手入れのしかた

シートクッションの取りはずしかた

- 1 ジュニアシート背面のスナップボタン(ヘッドレスト部 2カ所、背もたれ部3カ所、座面部1カ所)をはずします。
- 2 各パーツのシートクッション(3枚)をはずします。



シートクッションを取りはずしたまま使用しないでください。

シートクッションの取り付けかた

- 1 シートクッションを座面部、ヘッドレスト部、背もたれ部の順にかぶせませす。
- 2 背面のスナップボタン(6カ所)をとめます。

シートクッションの洗いかた

シートクッションを洗濯するときには、次のことを守ってください。

 <p>液温は30 を上限として手洗いしてください。</p>	 <p>漂白剤は使用しないでください。</p>
 <p>アイロン掛けはしないでください。</p>	 <p>ドライクリーニングはしないでください。</p>
 <p>手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。</p>	 <p>日陰で平干ししてください。</p>

蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

本体(プラスチック部分)のお手入れのしかた

通常は、かたく絞った布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体を傷めるおそれがあり、危険です。

保管のしかた

取扱説明書

取扱説明書(本書)は、よくお読みのうえ、背面のポケットに保管してください。

他のお客さまにジュニアシートをお譲りになる場合は、取扱説明書とベルトクリップもあわせてお渡しください。

ベルトクリップ

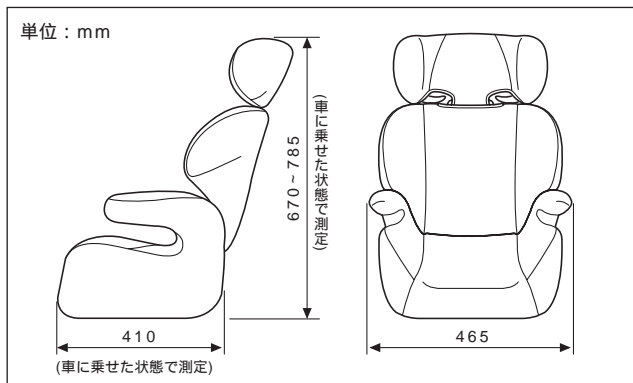
ジュニアシートを使用するときには、シートベルトのゆるみやお子さまの抜け出しを防ぐため、必ずベルトクリップを使用してください。

また、ジュニアシートを使用しないときは、背面のポケットに保管してください。

製品仕様

プリムジュニアDX

製品サイズ



商品重量：2.9kg

安全基準：ECE R44/03適合品

材質：本体 ポリエチレン

シートクッション

表生地 ポリエステル

クッション材 ウレタンフォーム

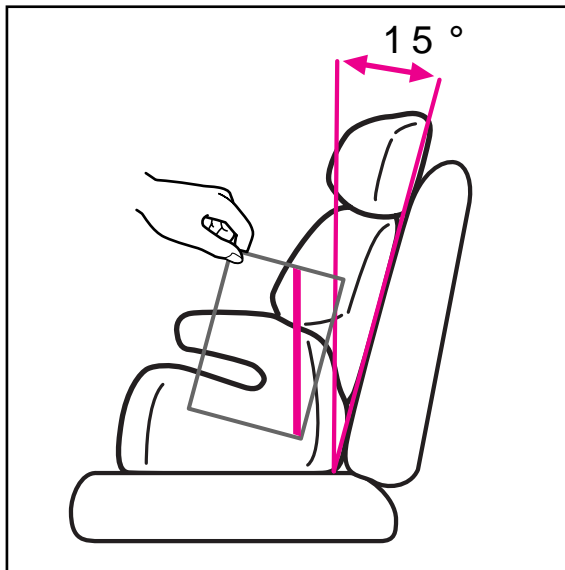
角度チェッカー

ジュニアシートを車に取り付けたときの、正しい角度の目安としてご利用ください。

ジュニアシートを車の座席角度に合わせて、15度前後に傾けます。

図のように、本書をジュニアシートの背もたれに合わせます。

赤いラインが垂直になったら、約15度の角度です。



15°

コンビ株式会社

製品にお気づきの点がございましたら、「お客様相談室」までご連絡ください。

お客様相談室 / 〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

お客様相談室 / 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2-1-10

(西日本担当) TEL. (06) 6263-4031 FAX. (06) 6263-4533

このラインを垂直にします。